

## 令和2年度 東北支部 技術者基礎教育の開催報告

令和2年度東北支部 技術者基礎教育を令和3年（2021年）1月21日から22日にかけて仙台市青葉区のハーネル仙台にて開催しました。

当日は、東北支部会員の計量証明事業所から若手技術者14名（参加者の経験年数は4年以内、うち4名は新入社員でした）が参加されました。

今年度の技術者基礎教育は、開講式として、吉元支部長の挨拶およびインストラクターの自己紹介から始まりました。昨年度は39名の参加者であったため、半分以下となり、寂しい感じもありましたが、勉強のために参加していただいた若手技術者のため、各インストラクターが熱心に講義やご自分の失敗談などのエピソードを話されていました。アンケートの回答でも、講義内容はとても好評でした。

例年第1日目の講義終了後に開催していましたが交流会（懇親会）が開催できず、インストラクターの先生方といろいろ代案を考えたところ、2日間の昼食時間を90分に延長し、昼食後にインストラクターや参加者同士の名刺交換などを行う交流会の時間を設定しました。若手の方が多いので、他社の方との交流は貴重な時間となったようで、予想以上に盛り上がるの時間となりました。

全講義を終了後に、吉元支部長より受講生一人ひとりに修了証を手渡ししました。

今回の学びや経験を活かしていただきたいと思います。

コロナ禍の中、主催者側として気を付けた点は、会場受付では体温計と消毒薬の設置、座席を3人掛け長机に一人ずつとし、列ごとに交互に着席することによるディスタンスの確保および休憩時間の換気などの対策を行いました。会場のハーネル仙台にも万全の態勢で準備をしていただきました。

本年度の東北支部の行事は、この技術者基礎教育のみでしたが、来年度は例年通りの行事を開催出来るようにしたいものです。



インストラクターの自己紹介



講義中の会場の様子



エクセルを使用した講義の様子



受付の様子  
検温とアルコール消毒を実施

(記 東北支部事務局 小林厚)